

## (8) 近畿



近畿地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

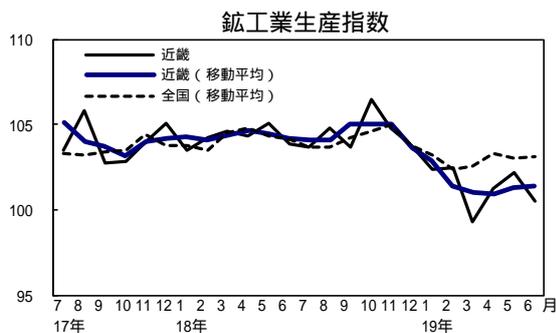
### 前回からの主要変更点

	前回(令和元年5月)	今回(令和元年8月)	
個人消費	持ち直しの動き	持ち直し	

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

4 - 6月期には、化学は、化粧品等が減少した。電気・情報通信機械は、ノート型パソコン等が増加した。汎用・業務用機械は、自動立体倉庫装置等が減少した。生産用機械は、機械プレス等が減少した。輸送機械は、軽乗用車等が減少した。



### 域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
化学	12.4	0.0	2.0	0.2	3.8	2.7
電気・情報通信機械	11.7	11.9	7.7	8.1	0.3	8.3
汎用・業務用機械	10.4	2.2	4.4	1.8	7.0	14.0
生産用機械	10.1	4.1	6.6	8.6	1.3	0.7
輸送機械	8.7	4.0	0.1	5.3	7.1	10.6
鉱工業	100	3.4	0.1	2.0	0.9	1.7

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 4 - 6月期、6月は速報値。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。近畿の最新月は速報値。

2. 全国及び近畿の太線は中心3か月移動平均。  
直近月は2か月平均。

## 2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

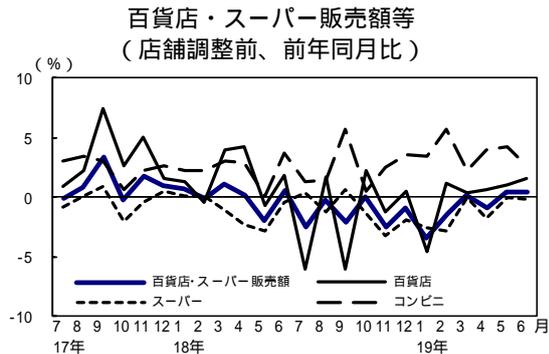
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比1.1%増、5月は同0.3%減、6月は同1.3%増となった。

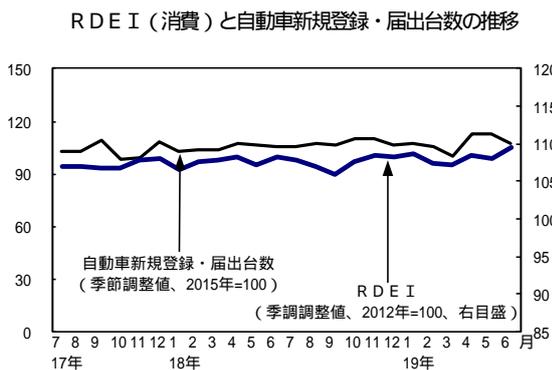
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4月は、飲食料品等が好調だったことから、前年を上回った。5月は、飲食料品等が好調だったことから、前年を上回った。6月は、婦人・子供服・洋品等が好調だったことから、前年を上回った。

スーパーは、4 - 6月期は、婦人・子供服・洋品、その他の商品等が振るわなかったことを受けて、前年を下回った。



	2019年4 - 6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	0.9	1.1	0.3	1.3
百貨店・スーパー(*2)	0.0	0.8	0.4	0.5
百貨店(*3)	1.1	0.6	1.0	1.6
スーパー(*3)	0.6	1.8	0.0	0.2
コンビニ(*3)	3.6	4.0	4.2	2.6
乗用車(*4)	4.4	6.7	6.5	0.6
(季節調整値) (*4)	6.2	12.1	0.3	4.7



(備考) 1. 季節調整前(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の近畿(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

## 3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。

